

平成27年度 事業報告書

特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘

□平成26年度の総会において決議された平成27年度活動計画は以下の通りです。

- ①2011年3月11日に発生した東日本大震災後に立ち上げた「子どもの笑顔プロジェクト」の活動をつづけます。
今年度は、これまで同様の訪問活動に加えて復興・整備された保育所・児童館等の子ども施設を再訪する「開館お祝いワークショップ」も実施します。
- ②地域における実践の場として、指定管理者として運営を行っている児童館・児童クラブでは活動内容をより一層充実することと、外に向けて広く情報を発信する取り組みをすすめます。
特に今年度は、子ども・子育て新制度のなかで示された児童クラブ事業の対象年齢の拡大や定数の見直しなどに対応することを最優先の課題とします。
また、講師派遣事業をいっそうすすめます。
- ③仙台市・宮城県との協議をすすめ、中央児童館の跡地の活用に向けた取組を行います。
- ④宮城県児童館連絡協議会、仙台市内児童館連絡協議会、全国子ども会連合会などの関係団体と連携を深めます。
また、ジュニアリーダー研修会への講師派遣等に加え、利府町等で開催する「子どものまち」や11月に開催する「子どもの文化創造祭」を、ボランティアの実践活動の場とすること等、大学生・社会人ボランティアの育成を行います。
- ⑤市町村の募集する児童を対象とした施設の指定管理者として応募し、地域での活動拠点くりをすすめます。
仙台市においては、2期目の契約が満了する仙台市八本松児童館、仙台市荒巻マイスクール児童館、仙台市立町マイスクール児童館を引き続き運営できるよう、3期目の募集に応募します。
また、仙台市北部の市町村にさらに活動の場を広げる努力をいたします。
- ⑥魅力的な研修会を年間を通して実施します。

■目的

児童館・児童クラブ職員には地域の児童の成長と発達を継続的に見守り、乳幼児から中高生までの発達に対して、共に活動しながら健全な育成を支援する職責があり、それらの取り組みには専門的なスキルが必要となります。また、子どもをとりまく社会情勢等も常に意識し情報を集めたり、子どものサインをキャッチする感性を磨き問題に取り組む姿勢と解決のための探究心を向上させていくことも必要です。

知識と経験を積んだ実践力のある人材を育成するための研修を、担当業務ごと・経験年数ごとや、全体研修・外部講師をお招きする研修等様々な形で実施し、全職員の資質向上に努めます。

- ⑦助成金や補助金などを確保し、法人としての体制強化に引き続きとめ、社会福祉法人の設立を目指します。

■①「子どもの笑顔元気プロジェクト」

□5年目となる笑顔バスの活動は、宮城県内は79箇所(のべ7,901人参加)、福島県内は14箇所(のべ1,600人参加)、岩手県内は20箇所(のべ1,442人参加)、合計で113箇所(のべ10,943人)の参加でした。これまでに520箇所の子ども施設を訪問しました。

活動の報告は以下のブログでおこないました。(http://egaobus.kodomonooka.com/)

■③宮城県中央児童館跡地活用

□具体的な進展はありませんでした。遊園部分は仙台市の管轄になっていますが、本館の敷地は売却されました。

■④関係団体との連携・ジュニア・リーダーやボランティアの育成

□理事長の平山乾悦は、平成27年8月に宮城県子ども会育成連合会が国立花山青少年自然の家において開催したサマーキャンプの企画・指導を勤め、ジュニア・リーダー、シニア・リーダーの指導も含めて実行しました。
宮城県地域活動(母親クラブ)連絡協議会の事務局は引き続き当法人の本部内にあることも含め、かつて宮城県中央児童館ゆかりの3団体ともにより連携を深めることができました。

■⑤市町村の指定管理者の公募

□仙台市内では、2期目の契約期間を終える仙台市八本松児童館・荒巻マイスクール児童館立町マイスクール児童館とともに、新たに5年間(3期目)の指定管理者として選ばれました。
指定管理申請資料の作成にあたっては、錦ヶ丘児童館の小林館長・鶴巻児童館の志賀館長八本松児童館の松浦館長・立町マイスクール児童館の小泉館長・荒巻マイスクール児童館の須藤館長等が、それぞれ原案作成をおこないました。
1月4日からは、大和町児童支援センターの業務委託も受け、当法人が運営する児童館・児童クラブ(岩切サテライト含む)は19ヶ所となりました。

■⑥魅力的な研修会の実施

□平成27年度 NPOみやぎ・せんだい子どもの丘 内部研修報告
子どもの丘職員として児童館・児童クラブ職員として資質・技能向上を図ることを目的に、以下の通り研修を行いました。感想は参加者の皆さんから寄せられた声を抜粋しています。
①4月30日(木)19:00～20:30 場所:本部1階スタジオ 参加者:16名
パソコン担当者研修「児童館でパソコンを安全に使うために気をつけたい4つの言葉」
講師:東北福祉大学情報福祉研究室 高橋 俊史氏
感想:パソコン操作に伴う危険性を実例をもとにわかりやすく学ぶことができた。

②5月1日(金)9:30～11:30 場所:錦ヶ丘児童館 参加者:18名
仙台市内職員対象新人研修「仙台市の児童館・子どもの丘の児童館」
講師:岩切児童館 羽賀崇子館長
感想:“どんな児童館にしたいのか夢を描き夢に近付けていくこと”という言葉が心に響いた。基本的な児童館についての知識と子どものこと、自分を認識する良い時間になった。

③5月1日(金)10:00～12:00 場所:利府西部児童館 参加者:17名
仙北職員対象新人研修「大切な何かを次の世代につなぐバトンタッチ」
講師:NPOみやぎ・せんだい子どもの丘副理事長 新田新一郎氏
感想:私たちの仕事は次の世代へ大切なものを繋ぐこと、自分のやる気や意識を変えることで大きく違ってくると感じた。

④7月2日(木)9:30～11:30 場所:本部1階スタジオ 参加者:18名
接遇研修
「相手のタイプに合わせたアプローチ法について～コーティングのタイプ分け～」
講師:コーティング研修会社 ドリームフィールド 鈴木 満氏
感想:スタッフ・こども・保護者・児童館で出会うすべての人と気持ちよく過ごすためのヒントがあった。一人一人に寄り添うというイメージが湧いた。

⑤9月13日(日)10:00～13:00 場所:本部1階スタジオ 参加者:31名
全体研修「好きですか。児童館の仕事。」
講師:NPOみやぎ・せんだい子どもの丘理事 伊藤俊子氏
感想:児童館をより深く知ることができたと同時に日々の過ごし方を振り返る機会となつた。

⑥10月 1日(木)9:30~11:30 場所:錦ヶ丘児童館 参加者:2日間計 25名 接遇
研修「自分自身の意識の高め方~モチベーションアップのために~」
講師:有限会社 キャリアコム 黒田敬子氏
感想:“言葉は投げるものではなく渡すもの”“個人のモチベーションがチームのモチベーションを上げることを忘れず、日々に活かしていきたい。

⑦1月 21日(木) 9:30~11:30 場所:通町児童館 参加者:2日間計 38名 乳
幼児担当者研修(わらべうた・児童文化財研修)
講師:通町児童館 杉山秀子館長
感想:親子で目と目を合わせて信頼関係を築いていくことが大切なのだと改めて気付かされた。
時代の流れと共に新しいことや物ばかりに気を取られ、大切なことを忘れていたことに改めて考えさせられた。

■⑦イベント報告

●子どもの文化創造祭「人形の森」2015

□開催日時: 平成 27 年 11 月 3 日(火・祝日) 11:00~16:00
□会場 : エル・パーク仙台 6 階ギャラリーホール・5 階セミナーホール
□参加者 : 1,983 名
□参加費 : 無料

●「おだづもっこキャンプ」

□開催日時: ①平成 27 年 8 月 29 日(土) ~8 月 30 日(日)
②平成 28 年 2 月 21 日(土) ~2 月 22 日(日)
□会場 : 国立花山青少年自然の家／鳴子温泉郷中山平温泉 仙庄館
□参加者 : ①小学生 40 名／大人 8 名 合計 48 名
②小学生 39 名／大人 7 名 合計 46 名

●子どものまち IN りふ 2015

□開催日時: 平成 27 年 11 月 29 日(日)
□会場 : 利府町役場
□参加者 : 参加者 208 名 + 観光客(参加者の保護者・見学者など)800 名
□内 容 : 4 回目(4 年目)の実施となる今回は出店数 42 店舗となりました。仙台市で「子どものまち」の活動に取り組む、安藤副理事長数が委員長を務める「子ども未来フォーラム」の皆様をはじめ 100 名以上のボランティアの協力を得て、今年も大成功で終える事ができました。

■平成27年度決算

□税引き前の当期純利益金額は 5,297,146 円。
予算 1,000,000 円に対し、税引き(1,397,500 円)後の当期純利益は 3,899,646 円です。

□総収入は、予算 300,974,000 円に対し 306,178,394 円(101.7%増)でした。
指定管理料の総額は、予算 299,474,000 円に対し 302,522,000 円(101.0%増)となりました。
それ以外の収入(会費・助成金など)は、子どもゆめ基金の助成制度の縮小などにより、
予算 1,500,000 円に対して 571,000 円(38.0%)。

昨年度の会費・助成金額は 195 万円でしたので、前年と比べると 138 万円の減少でした。

事業外収入(プランニング開その他外部からの講師謝礼など)は 3,085,394 円。指定管理料以外の合計は 3,656,394 円で全体の 1.19%です。

□販売費及び一般管理費は、予算 299,974,000 円に対し 303,418,689 円。

営業総益は 2,759,705 円でした。

そのうち人件費(役員報酬・給与手当・雑給・賞与・法定福利費含む)は 251,959,046 円

で 83.0%です。

また、給与のうち残業手当として支払った総額は 14,268,143 円で、前年(9,198,292 円)
より 5,069,851 円増加しました。

※少ない職員数に対応するために、各職員の残業が増えました。

□営業外収益は、受取利息が 8,833 円、雑収入(各児童館の材料代・お茶代など)が 2,727,279
円の合計 2,736,112 円でした。

□営業外費用は、支払利息 198,671 円、法人税等 1,397,500 円でした。